

自動車アセスメントの概要

自動車等の安全性能評価を公表し、自動車ユーザーが安全性の高い自動車等を選択しやすい環境を整備するとともに、メーカーに対しより安全な製品の開発を促すことによって、安全な自動車等の普及促進を図る自動車アセスメント事業を平成7年度から実施している。

更なる交通事故死者数の削減を図るため、先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援し、事故を未然に防止するシステムについて、平成26年度以降、順次自動車アセスメントへ導入した。平成30年度には踏み間違い時加速抑制装置、夜間の環境における被害軽減ブレーキ[対歩行者]の街灯あり条件、及び事故自動通報装置の評価を開始し、令和元年度には夜間の環境における被害軽減ブレーキ[対歩行者]の街灯なし条件での評価を開始した。

試験の実施

衝突安全性能評価(平成7年度より実施)

- フルラップ前面衝突試験
- オフセット前面衝突試験

H7年度～



H12年度～



- 側面衝突試験

H11年度～



- 後面衝突頸部保護性能試験

H21年度～



- 歩行者頭部保護性能試験
- 歩行者脚部保護性能試験

H15年度～



H23年度～



予防安全性能評価(平成26年度より実施)

- 被害軽減ブレーキ(対車両)
- 後方視界情報提供

H26年度～



H27年度～



- 車線逸脱抑制装置

H29年度～



※H26年度～H28年度までは車線はみ出し警報にて評価

- ペダル踏み間違い時加速抑制装置

H30年度～



※日産自動車HPより

- 被害軽減ブレーキ(対歩行者)

H28年度～



昼間の評価

H30・R元年度～



夜間の評価

H30年度：
街灯あり条件の評価開始
R元年度：
街灯なし条件の評価開始

結果の公表

《パンフレットの配布等》
★の数など、わかりやすい形で評価結果を公表



～予防安全性能評価の公表イメージ～

メーカー	車種名	車種写真
被害軽減ブレーキ	対車両	32.0 / 32.0
対歩行者	65.0 / 65.0	
車線逸脱抑制装置	16.0 / 16.0	
後方視界情報提供	6.0 / 6.0	
踏ん張り装置	5.0 / 5.0	
事故自動通報装置	2.0 / 2.0	
		ASV+++
		126.0 / 126.0